

協働のまちづくりの推進



江別市高齢者クラブ連合会が主催する演芸大会。パークゴルフ大会や体力測定会もあり、日頃の活動の集大成として楽しみにしている方が多くいます。



「EBETSUto」による大麻銀座商店街でのイベント。大学生が地域と関わりを持ち、まちづくりに参加することで、まちに活気が生まれます。



えべつ協働ねっとわーくが主催した、まちづくりのワークショップ。自分たちが住みたい暮らしたいまちの姿を考え、カードを使って対話しながらまちづくりの戦略を作り「協働のまちづくり」を共に考えました。

みんなで支え合う安心なまち

江別市では、協働によるまちづくりを推進しています。協働とは、市民と市がそれぞれの役割を理解し、互いの良いところを認め合いながら、地域の課題解決に向けて、協力して取り組むことです。

江別市自治基本条例で掲げる市民自治の理念に基づき、市政への市民参加を進めることで市民主体のまちづくりを目指すとともに、市民、自治

会、NPO、ボランティア・市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携し、協働のまちづくりに取り組んでいます。市は、協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体などが独自の発想や専門性を活かして実施する、地域の課題解決や活性化につながることを期待される公益的な事業に対して支援をしています。

市内事業者の声

NPO法人えべつ協働ねっとわーく



江別市には、ボランティア活動やまちづくり、国際交流、文化芸術活動といった公益的な性質を持つ市民活動団体が200〜300団体あります。

2006年に設立された「江別市民活動センターあいは、その活動を推進する拠点として情報を集約・発信し、団体と市民・企業・行政とのネットワークを作ることによって市民活動の活性化に努めています。

ここを運営するのが、えべつ協働ねっとわーくです。研修会の開催や相談を受けることで各団体の活動を支援するほか、市内の大学生がボランティア活動や企業訪問を通して、多様な立場の方や地域と関わり、さまざまな経験を得ることができ、江別市の事業「ジモ×ガク」の事務局を務めるなど、その業務は多岐にわたります。

事務局長の成田裕之さんは、「江別市を改めて知り、もっと好きになってもらうことで、まちづくりや協働に興味を持ってほしい」という想いから、2010年に「江別まち検定」を始め、現在も作問などを行っています。



事務局長
なりた ひろゆき
成田 裕之さん



- 1 江別市内で活躍する市民活動団体の紹介や発表などを行うイベント「江別市民活動見本市」。ここでも「ジモ×ガク」の学生たちがボランティアスタッフとして活躍しました。
- 2 地域定着を目指して周辺の8市町と学生のマッチングを行う「ジモ×ガク」。約600人の学生が登録しています。
- 3 市民活動団体のポータルサイト「コラボのたね」を運営し、各団体が自由に情報発信できる仕組みを作っています。

江別市高齢者クラブ連合会



江別市内にある高齢者クラブの活動をサポートするとともに、各クラブへの情報提供や全体的な事業を行っているのが江別市高齢者クラブ連合会です。高齢者クラブとは、同じ地域に暮らす高齢者が集まって活動している組織。江別市内には61のクラブに2600人ほどのメンバーがあり、パークゴルフやウォーキングで体を動かしたり、囲碁やマージャンなどで交流したり、子どもたちの見守りなどの社会貢献活動を行ったりと自分に合った方法で活動しています。連合会ではパークゴルフ大会や演芸大会など、クラブの枠を越えたイベントを企画・運営しています。



事務局長
ふじた まさひろ
藤田 政典さん

「高齢者同士が交流することを基本として、情報交換や困り事の相談をするような場が高齢者クラブです。高齢者が元気で地域が元気になります。活動を通じて健康寿命を延ばし、毎日を楽しんでいただるのが理想です。これまでの人生で培ってきた経験を社会に還元できる場だと思えます」と事務局長の藤田政典さんは話します。

江別市の65歳以上の人口は全体の約3割。高齢者がいきいきと元気に暮らせるまちは、活気にあふれています。

Community HUB 江別港



大麻銀座商店街にある「コミュニティスペース」がCommunity HUB 江別港。地元の製麺会社、株式会社菊水の袋麺をアレンジして提供する「cfe&noodle menukoiya」も併設されています。

4大学1短大の学生が集まる江別市で、若者だけでなく地域内外の多様な人たちが交流できる場として設立されました。2013年からスタートした、大学生と地域を結ぶ仕組みづくりを目的としたプロジェクトでは、活動拠点や出会いの場として活用されています。

江別港代表の橋本正彦さんは「大麻銀座商店街は、協働の視点があふれる店主が集まり活気があります。『ハブ』として人が集まり、出会える



代表
はしもと まさひろ
橋本 正彦さん

市内の大学生が「やってみたい」ことを仲間や市民と一緒に実現するプロジェクト「EBETSUto」(エベツト)のコーディネーターでもある橋本さん。市内で壁面アートを描いたり、大麻銀座商店街でイベントを開催していたりと、学生が地域で活躍する手助けをしています。ここで若者たちが育ち、港から社会という海に出て社会を変える、そんな未来を思い描かせてくれる、希望にあふれた場所です。